

第十一回「和田浦くじらゼミ」の概要

テーマ：「温故知新＝日本近代の捕鯨史からその未来を考える」

(1) タイムスケジュール

第一部：7月8日（土）13：00から16：00まで

場所：南房総市和田支所 2F会議室

12：30 受付開始

12：50 集合時刻

13：00－13：10 「開講挨拶」

13：10－14：00 「近代捕鯨業の歴史とこれから－油脂間競争から食肉生産へ－」

講師：赤嶺淳一

14：00－14：15 質疑応答

14：15－14：30 休憩

14：30－15：30 「日本の近代捕鯨を軸に捕鯨の過去・現在・未来を考える」

講師：西脇茂利

15：30－16：00 全体を通じた質疑応答

(以上で第一部は終了。その後、各自宿泊施設にチェックインしていただきます。)

第二部：懇親会の部 18：00－ 会場設定も含め、詳細は現在調整中です。

第三部：7月9日（日）9：00－12：00

西野嘉憲さんの「石垣島カツオ一本釣り」、庄司の「食肉の中の鯨肉」の話題等。

7月8日（土）－9日（日）は千倉地区の祭礼で冷凍施設が閉鎖。従い9日（日）朝のツチ鯨の解体見学は無く、座学となります。日程変更が困難な折、ご了承下さい。

(2) 過去の「和田浦くじらゼミ」のテーマの変遷

第1回目（H21） 「房州のツチ鯨漁の歴史と現状、食文化について」

第2回目（H22） 「イワシとクジラの房州人」と「鯨の科学の実際」

第3回目（H23） 「沿岸漁村社会と捕鯨業の将来を問い直す」

—映画「The Cove」・妨害される南氷洋捕獲調査・被災した漁村社会を題材に—

第4回目（H24） 「万祝—房州発祥の漁民民芸の結晶—を鑑賞し、考える」

第5回目（H25） 「シロナガスクジラ（白長須鯨）のことを学びましょう！」

第6回目（H26） 「やはり、今回は国際捕鯨裁判を学びましょう！」

第7回目（H27） 「水族館のイルカ問題を起点に、人間と野生生物の関係を考えましょう。」

第8回目（H28） 「世話人 西脇茂利さんの還暦を祝して」

第9回目（H30） 「原点に戻り、ツチクジラを学び直しましょう！」

第10回目（R1） 「日本の商業捕鯨の再開について」

なお H29 は外房捕鯨の事情に抛り、R2-4 はコロナ禍で実施できませんでした。

第十一回「和田浦くじらゼミ」参加者募集要項

テーマ：「温故知新＝日本近代の捕鯨史からその未来を考える」

すっかりご無沙汰してしまいました。令和2年から今年5月のコロナウイルス感染症の「5類」への移行までの3年超の期間、皆様はどう過ごされましたか？「和田浦くじらゼミ」についてはこの期間、「座学・懇親会会場及び宿泊施設をコロナ禍仕様に整えることが困難」との理由からその開催を見合わせていました。そしてこの令和5年夏の7月8（土）—9日（日）の期間、久しぶりの開催することとなった次第であります。

さて、今回はどんなテーマを設定するか？ここ3年に渡るコロナ禍の生活、人々の思考は概して内に向かい、常時とは異質なものがこころの底に沈殿している筈。ならばその「心の底に沈殿した異質なもの」を自由に思い切り吐き出して貰ったらいいのではないか？そう考えるに到りました。以下各講師の講義内容（予想）を概略記します。

西脇さんと一橋の赤嶺さんは「日本近代の捕鯨史と今後の日本捕鯨の行先」についてお話し頂きます。赤嶺さんはコロナ禍の期間に、特に「油脂の供給産業としての捕鯨の歴史」の研究を続けてこられた由です。これらの講義を8日（土）午後に実施します。

西野さんは「石垣島のカツオ一本釣り漁業とその餌捕りの追い込み漁」について動画を使って紹介して下さるそうです。それと庄司は「魚肉を含めた食肉全般の中の鯨肉」という観点から、「食べ物としての鯨」を相対化するお話ししてみたいと考えています。西野さんと庄司の講義は9日（日）午前に実施します。

ということで、以下に募集条件等の詳細を記します。よろしくお願ひします。以上

（1）開催日時と募集人数（一泊二日）

7月8日（土）13：00から9日（日）午前中一杯 30名まで

（従前の40名上限の募集枠を今回は30名上限に減枠しました。会議室が手狭なことで、3年ぶりの開催でスタッフの人数等マンパワー不足が否めないことに拠ります。今回はとにかく再開することを最優先し、無理のない計画で進めたいと思います。）

（2）参加費・お支払方法：1万2千円（一泊2食＋酒代込み。）を指定の口座に6/30(金)までにお振込み下さい。

宿泊を伴わない参加も可能です。地元の皆さんが電車利用で夕食（交流会）まで参加出来る様に、プログラムを調整しています。費用については、ゼミ参加費、交流会費、二次会費、宿泊費と個別に設定します。詳細は以下（9）項をご参照下さい。

（3）テーマ：「温故知新＝日本近代の捕鯨史から捕鯨の未来を考える」

講義の内容は、以下の「（7）項具体的なスケジュール」をご参照下さい。

（4）申込先：メール又はファックスで申し込み

（ア）申込書フォーム：別途ブログに掲載された「申込書フォーム」を、パソコンに

保存・必要事項を記入の上でメール送信、或いはフォームを印刷して必要事項を記入の上ファックス送信してください。

(イ) メールでの申し込み方法：別途ブログに掲載した申込書フォームに必要事項を入力の上、メールアドレス tour@cm-boso.com (一般社団法人 南房総市観光協会)宛送信して下さい。(このアドレスにメールで申込用紙を請求可。)

(ウ) ファックスでの申し込み方法：別途ブログに掲載した申込書フォームに必要事項を記入の上、ファックス番号 **0470-28-5309**までファックスでお送り下さい。

(エ) 電話でのお問い合わせ先：ネイチャースクールわくわくWADA (担当：平川) 電話番号は**080-2558-0238**、受付時間帯は **8:30-17:00**です。

(オ) 申し込み期限：6月30日 (金)

(5) 集合時刻 / 場所

集合時刻：7月8日 (土) 12:50 (12:30受付開始・13:00開講)

集合場所：南房総市和田支所 2階 会議室

*住所は「南房総市和田町仁我浦 206 番地」、〒番号0470-47-3111です。

*南房総市和田支所の駐車スペースは、集合場所付近にあります。

(6) 宿泊先 (基本的に和田浦駅又は和田港の近くの民宿施設)

*「四季の宿じんざ」「安田民宿」「醤油屋」等の複数の民宿に分宿していただきます。

参加者の部屋割りについては、NPO 法人ネイチャースクールわくわくWADAが、

皆様が申し込み用紙の「宿泊に関する要望欄」に記入された要望を参考に調整します。

申し込み用紙の「宿泊に関する要望」欄にご要望等をご記入下さい。但し、「男女別の相部屋」が基本です。ご要望に沿えない場合も想定されますので、予めご了承下さい。

*各参加者の宿泊先、部屋割りについては、受付の際に個別に説明します。

(7) 具体的なスケジュール

12:30	受付開始
12:50	集合時刻
13:00-13:10	「開講挨拶」
13:10-14:00	「近代捕鯨業の歴史とこれからー油脂供給の経済史の視点よりー」 講師：赤嶺淳一
14:00-14:15	質疑応答
14:15-14:30	休憩
14:30-15:30	「日本の近代捕鯨を軸に捕鯨の過去・現在・未来を考える」 講師：西脇茂利
15:30-16:00	全体を通じた質疑応答

(以上で第一部は終了。その後、各自宿泊施設にチェックインしていただきます。)

(ア) 7月8日 (土) の和田浦への公共交通機関について

(電車) JR 館山駅発 (安房鴨川行き) 11:40 発 和田浦 12:04 着
JR 安房鴨川駅発 (千葉行き) 12:02 発 和田浦 12:17 着
(東京からの便) JR の特急列車の便もありますが、東京駅またはバスタ新宿発の館山及び鴨川行き的高速バスが概ね1時間に1本運行されており、便利です。

(イ) 第二部：懇親会の部

18:00—21:00 交流会 (会場については調整中です。)

皆さんと一緒にツチクジラやミンククジラ等の多様な部位を食べながら交流しましょう。

21:00— 二次会

(会場については調整中です。追って参加人数を制限する可能性があることをお含み置き下さい。又、参加者と不参加者の公平性の確保と昨今の諸経費増の穴埋めに些少なからず貢献したいとの観点より、1000円/人のカンパにご協力いただけますと幸いです。その徴収は、当日二次会会場にて行います。)

(ウ) 第三部：7月9日(日) 正午までに終了

*本来「和田浦くじらゼミ」は週末の土日に実施し、もし土曜日にツチクジラが獲れば、翌日曜日の早朝にその解体作業を見学する仕組みとなっています。しかし今回の7月8日(土)－9日(日)は生憎千倉地区の祭礼と重なり、冷凍施設が閉鎖。従い7月7－8日は休漁となり、9日(日)朝のツチ鯨の解体見学は不可能となりました。セミナー2日目の9日(日)午前は初日と同様の座学となります。

スケジュールを調整する方向で検討してみましたが、諸施設や世話人とスタッフの都合等を勘案すると、やはりこの7月8日(土)－9日(日)の変更は困難でした。誠に申し訳ありませんが、この点をご了承いただきたく存じます。

*8日(土)夕刻に、9日(日)午前のセッションの集合時刻を連絡します。

*9日(日)は、正午までには閉会・解散とします。

(8) 7月8日(土)の懇親会終了後の電車の時刻について

日帰り参加も可能です。晩の交流会にもご参加下さい。ツチクジラやミンククジラ等の様々な部位を皆さんと一緒に食べながら交流したいと思います。

なお、和田浦駅発の最終の電車は以下の通りです。

館山方面最終電車 21:33 (千葉行) 館山着 22:01

安房鴨川方面最終電車 22:01 (安房鴨川行) 鴨川着 22:16

(9) 参加費に関する諸規定 (税込)

全日程参加費	12,000円
--------	---------

(明細)

*ゼミ参加費 (保険料500円を含む)	2,000円
---------------------	--------

*一泊朝食付宿泊費	5,500円
-----------	--------

*交流会（夕食）費（酒代込み） 4,500円

（二次会参加者カンパ 1,000円/人（別途当日二次会会場にて徴収））

（10）お支払方法：振込口座 千葉銀行 那古船形支店 店番号 223 普通 3251382

（11）セミナーの実施主体

このセミナーはNPO 法人ネイチャースクールわくわくWADAの主催です。 以上

